

Cisco Meraki レイヤ 3 アクセススイッチ

MS250 / MS350 / MS410 / MS425

つなぎかたガイド

STEP 1

同梱物を確認しよう

STEP 2

接続して、電源を入れよう

STEP 3

アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

STEP 4

基本設定を行おう

STEP 5

ポートごとの設定を行おう

STEP 6

レイヤ 3 (L3) の設定を行おう

STEP 7

物理スタックの設定を行おう

TIPS



Cisco Meraki MS がクラウドとうまく接続できないとき



STEP 1

同梱物を確認しよう

Cisco Meraki MS のパッケージには、次のものが同梱されています。
不足などないか、確認しましょう。

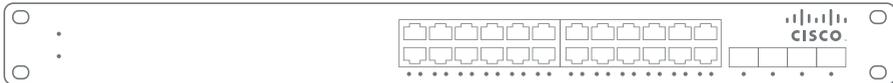
MS250 / MS350 / MS410 / MS425 の同梱物

- ① Cisco Meraki MS スイッチ本体 1 台
- ② 電源ケーブル 1 本[※]
- ③ ラックマウントキット
- ④ 0.5m スタック ケーブル 1 本 (MS350 のみ)

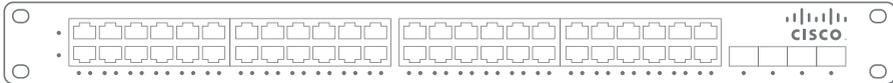
※MS パッケージ購入時に電源ケーブルも別途購入いただく必要があります。

①

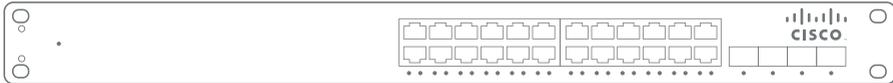
MS250-24/MS250-24P



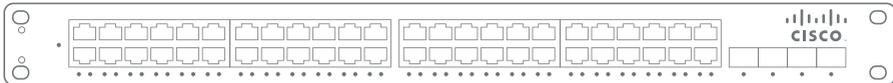
MS250-48/MS250-48LP/MS250-48FP



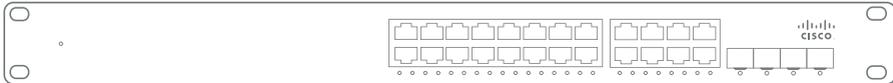
MS350-24/MS350-24P



MS350-48/MS350-48LP/MS350-48FP



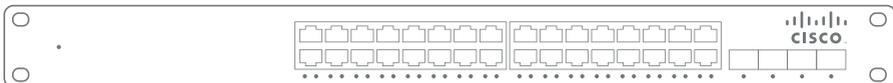
MS350-24X



MS410-16



MS410-32



STEP 1

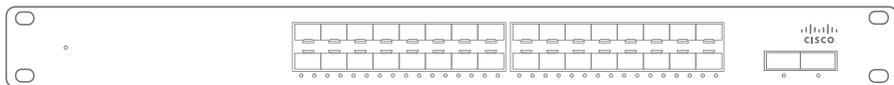
同梱物を確認しよう

Cisco Meraki MS のパッケージには、次のものが同梱されています。
不足などないか、確認しましょう。

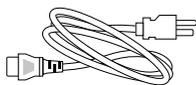
MS425-16



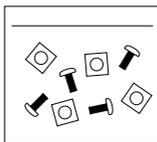
MS425-32



2



3



4



STEP 2

接続して、電源を入れよう

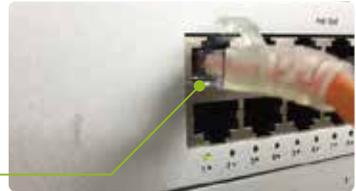
実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

- ①
Cisco Meraki MS シリーズに電源ケーブルを接続し、起動させます。



- ②
Cisco Meraki MS の LAN ポートと、ブロードバンドモデムや上位スイッチ、ファイアウォールの LAN ポートなどを LAN ケーブルで接続します。

カチッと音がするまで差し込みます。



- ③
Cisco Meraki MS の「Power」ランプが白点灯（MS250/MS350/MS410/MS425）するまで待ちます。

起動直後は橙色に点灯します。



STEP 3

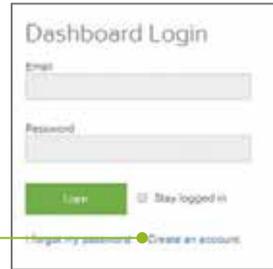
アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

①
パソコンを起動します。

②
Web ブラウザを起動し、アドレス欄に次の URL を入力して、ページにアクセスします。
https://account.meraki.com/secure/login/dashboard_login

③
アクセスすると右の画面が表示されるので、
【Create an account】をクリックします。



④
アカウントを作成します。

メールアドレスを入力します。

自分の名前を入力します。(アルファベット)

ログインするときに必要な
パスワードを入力します。

上記と同じパスワードを入力します。

自分の会社名を入力します。



上に画像で表示されている数字を入力します。

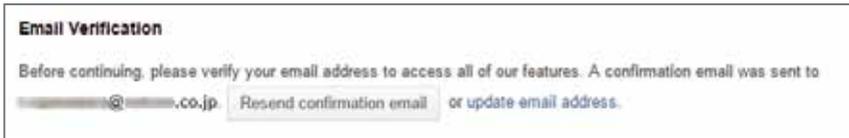
すべて入力できたら、クリックします。

STEP 3

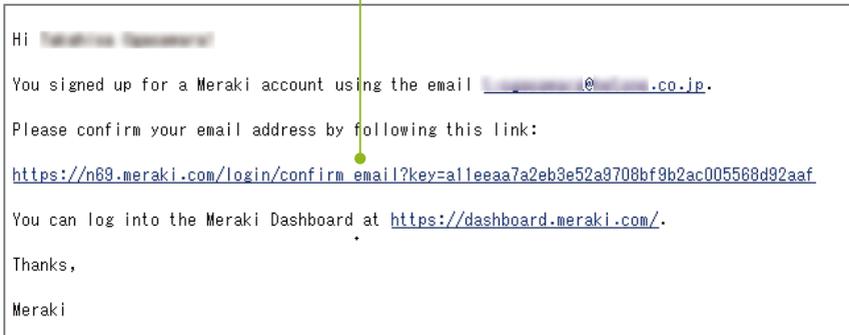
アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

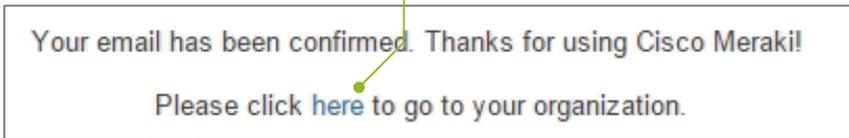
- ⑤
クリックすると以下の画面になります。
先ほど登録したメールアドレスにメールが送られているので、メールを確認しましょう。



- ⑥
送られてきたメールに記されている URL をクリックします。



- ⑦
クリックすると以下の画面に移ります。[here] をクリックします。



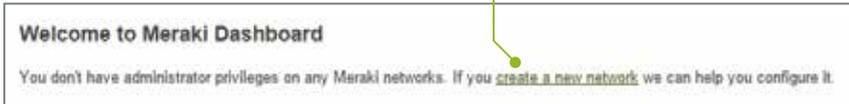
STEP 3

アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

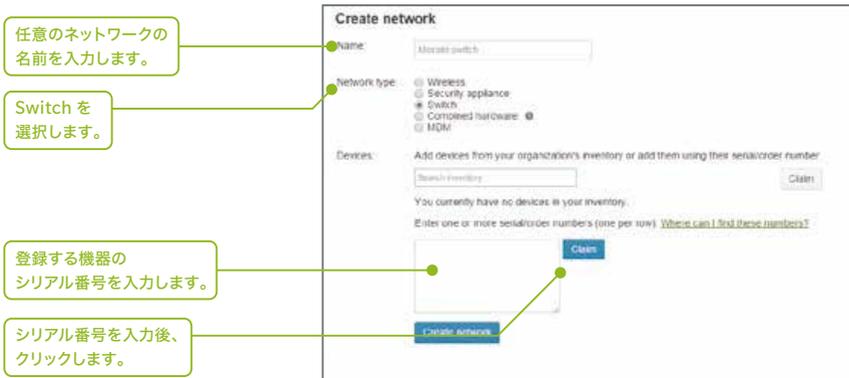
⑧

以下の画面が表示されるので、**[create a new network]** をクリックします。



⑨

続いて、以下のページが表示されます。必要な項目を入力しましょう。



STEP 3

アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

⑩

シリアル番号を入力後、**[Claim]** ボタンをクリックすると対象機器が追加されます。
追加されたことを確認したら、**[Create network]** ボタンをクリックします。

MAC address	Serial number	Model	Claimed on	Order number	Country
88:95:35:83:10:10	5428778888-0000	M3220-EP	11/4/2015 5:59 PM		JP

ライセンスを登録します。お手元にライセンスキー（12ケタ）をご用意ください。

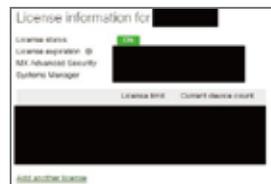
①

Organization > License Info をクリック



②

Add another license をクリック



STEP 3

アカウントを作り、Web ページにアクセスしよう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

③

Operation [License more device]の選択

※「Renew my Dashboard license」は
ライセンス更新時に利用します。



④

License key xxxx xxxx xxxx (12ケタ)の入力

⑤

Add Licenseのクリック

⑥

License History にライセンスが登録されます

Key	Start date	Expired at	Type	Edition	Device	License Term
XXXX-XXXX-XXXX	06/12/2018	06/12/2018 11:18PM	Access device	Enterprise	1 Wireless AP	5 years

※上記はMRシリーズのライセンス登録例。

⑪

画面左側【Switch】のサブ階層にある【Switches】をクリックして、先ほど入力したシリアル番号に紐づいている機器のステータス欄が緑色になっていることを確認します。



赤色、または灰色の場合は数分経ってから Web ブラウザの更新ボタンをクリックしてページ表示を更新し、緑色になることを確認しましょう。

STEP 4

基本設定を行おう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

①

画面左側 **[Switch]** のサブ階層にある **[Switch settings]** をクリックして設定画面を開き、必要な情報を変更します。



管理 VLAN の初期値は **[1]** です。

RSTP は初期値で有効になっています。RSTP/STP を無効にする場合は、**[Disable RSTP]** を選択してください。

ブリッジプライオリティの初期値は **[32768]** です。

※注意点：既存のネットワークにCisco Meraki MSを導入する場合、事前にCisco MerakiMSをインターネットに接続して設定情報をダウンロードしておくことを推奨します。本来の設定情報が入っていない状態で既存ネットワーク接続すると、クラウドから値を取得するまでに正しいプライオリティ値が送られず、L2 トポロジが変更される可能性があります。

MTU サイズの初期値や、スイッチごとの MTU 値を変更できます。初期値は **[9578]** です。

設定を終えたら、ページ下の **[Save Changes]** をクリックして保存します。



STEP 5

ポートごとの設定を行おう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

①

画面左側 **【Switch】** のサブ階層にある **【Switch ports】** をクリックして、スイッチポート一覧画面を開きます。



②

設定変更するポートを選択（複数選択可能）し、**【Edit】** をクリックします。



③

以下のとおり設定します。

初期値は **【enabled】** です。**【disabled】** を選択するとポートが無効になります。

初期値は **【enabled】** です。**【disabled】** を選択すると、当該ポートの RSTP が無効になります。

初期値は **【disabled】** です。**【root guard】**、**【BPDU guard】** を有効にできます。

PoE スイッチのみの項目で、初期値は **【enabled】** です。**【disabled】** を選択すると PoE の機能が無効になります。

初期値は **【auto】** (auto negotiation) です。速度、通信モードの設定が可能です。

曜日や時刻によってポートを有効 / 無効にする設定が可能です。事前に **【Switch】>【Port schedules】** での設定が必要になります。

【enabled】 に設定したポート同士間での通信を遮断します。
※ **【enabled】** ⇄ **【disabled】** 間の通信は許可します。

初期値は **【trunk】** です。**【access】** ポートに変更可能です。

Update 3 ports

Switch ports:

Name:

Tags:

Enabled:

RSTP:

STP guard:

PoE:

Link:

Port schedule:

Isolation:

Type:

Native VLAN:

Allowed VLANs:

STEP 5

ポートごとの設定を行おう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

※ トランク ポートに設定する場合の項目

ネイティブ VLAN を設定します。初期値は【1】です。

トランク ポート設定時に通信許可する VLAN を指定します。初期値は【all】です。

Type:
Native VLAN:
Allowed VLANs: all

※ アクセスポートに設定する場合の項目

初期値は【Open】ですが、以下から選択可能です。

◎【Open】：単純なアクセスポートです。

◎【<Access Policy 名>※】：認証サーバと連携し 802.1x 認証を実現します。
※<Access Policy 名>は、【 Switch】>【Access policies】で設定した項目名です。

◎【MAC Whitelist】：【Whitelisted MACs】で指定した MAC アドレスの端末のみ接続を許可します。

◎【Sticky MAC Whitelist】：【Whitelist size limit】で指定した数だけ、接続した端末の MAC アドレスを自動的に学習し、それ以外の端末の接続を拒否します。

アクセスポートの VLAN を 1 つ指定します。

LLDP もしくは CDP を使って、ここで指定した音声 VLAN を通知します。

すべての設定を終えたら、ページ下の【Update x port(s)】をクリックして保存します。

Type:
Access policy:
Whitelist size limit:
Whitelisted MACs:
VLAN:
Voice VLAN:

Cancel Update 3 ports

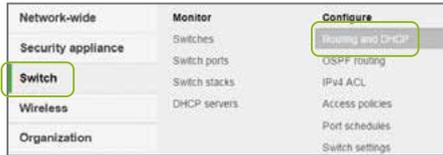
STEP 6

レイヤ 3 (L3) の設定を行おう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

①

画面左側 **[Switch]** のサブ階層にある **[Routing & DHCP]** をクリックして、画面を開きます。



②

[Add an interface] をクリックします。



③

以下のとおり設定します。

ドロップダウンから Interface (L3 VLAN) を設定するスイッチ、スタックを選択してください。

一覧表示しても分かりやすいようにインターフェイスの名前を定義してください。

セグメントの範囲を CIDR 形式で入力してください。
例：192.168.0.0/24

Cisco Meraki MS の当インターフェイスに対する IP アドレスを入力してください。

VLAN ID を **[1] ~ [4094]** の数値で指定してください。

デフォルト ゲートウェイを指定してください。

DHCP サーバとして動作させるかを設定します。

◎ **[Run DHCP Server]** : 本 Cisco Meraki MS を DHCP サーバとして動作させます。

◎ **[Relay DHCP to another server]** : リレーエージェントとして動作します。

◎ **[Do not respond to DHCP requests]** : DHCP の問い合わせを無視します。同じセグメント内に DHCP サーバが設置される場合はこちらを選択してください。



前項の選択肢により表示項目が変わります。

◎ **[Run DHCP Server]** : DHCP サーバ詳細を設定してください。(次ページ参照)

◎ **[Relay DHCP to another server]** : リレー先の DHCP サーバ IP を指定してください。(複数設定可能です)

すべての設定を終えたら画面下の **[Save]** をクリックして、設定内容を保存します。

STEP 6

レイヤ 3(L3)の設定を行おう

実際にパソコンで表示される画面は、予告なく変更されることがあります。

※【Run DHCP Server】を選択した場合の設定 ……………



DHCP のリース期間を設定します。

DNS サーバを指定します。
◎【Use Google Public DNS】
Google 提供の DNS サーバ
◎【Use OpenDNS】
OpenDNS 社提供の DNS サーバ
◎【Specify nameservers…】
手動で DNS サーバを指定します。

◎【Specify nameservers …】 選択時、DNS サーバを 1 行 1 アドレス入力します。(複数入力可能)

IP アドレスを固定で割り振る範囲がある場合、DHCP で動的に割り振らないよう範囲を指定します。

DHCP サーバから固定で IP を割り振るよう、IP アドレス⇄MAC アドレスの組み合わせを指定します。※Reserved IP ranges の範囲内の指定も可能です。

- ④ ……………
- スタティック ルートを作成する場合は【Add static route】をクリックします。



- ⑤ ……………
- 以下のとおり設定します。



ドロップダウンからスタティック ルートを設定するスイッチ、スタックを選択してください。

一覧表示しても分かりやすいように、スタティック ルートの名前を入力してください。

ルーティングする先のセグメントを CIDR 形式で設定してください。

ネクスト ホップ IP を設定してください。

すべての設定を終えたら画面下の【Save】をクリックして、設定内容を保存します。

STEP 7

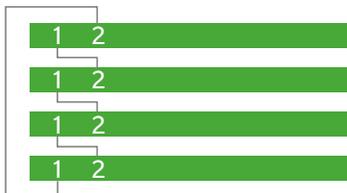
物理スタックの設定を行おう

Cisco Meraki MS250 / MS350 / MS410 / MS425 は物理スタックに対応しています。
いずれも最大 8 台までスタック可能です。(2018 年 7 月現在)

①

スタックケーブルを接続します。Cisco Meraki MS の電源が OFF になっていることを確認します。1 台にスタックポートが 2 個あるので、右の画像のように Port1⇄Port2 を交互に接続してください。初回起動時は、クラウド疎通のための Uplink とスタックケーブルのみ接続して起動すると、設定情報のダウンロードとファーム アップ (LED 点滅) を行います。LED 点滅完了後に、各ポートへ残りの UTP ケーブルを接続してください。

※MS425 は専用スタックポートがありませんが、前面の QSPF ポート等で利用可能です。
ダッシュボード上の当該ポートの【Stacking】項を enabled にしてお使いください。



②

クラウド画面左側【Switch】のサブ階層にある【Switch stacks】をクリックして、画面を開きます。



③

【add one】をクリックします。



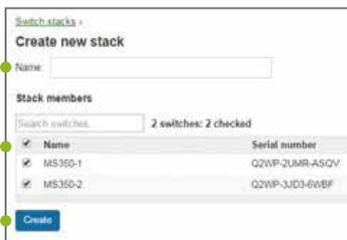
④

以下のとおり設定します。

他のスタックと区別がつきやすいよう、スタック名を決めて入力します。

スタックを組むスイッチにチェックを入れます。

Create ボタンをクリックして、保存します。

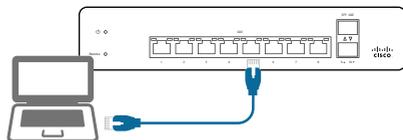


Cisco Meraki MSがクラウドとうまく接続できないとき

IP アドレスを自動取得できない場合は、Cisco Meraki MS に接続し、手動で設定します。

①

PC を Cisco Meraki MS の任意のポートに LAN ケーブルで接続します。



②

PC 側の LAN ポート
 (「ローカルエリア接続」など)に固定で
 IP アドレス (IPv4) を割り振ります。

IP アドレス ▶ 1.1.1.2

サブネット マスク ▶ 255.255.255.0

デフォルト ゲートウェイ ▶ 1.1.1.100



画面は Windows の場合

③

Web ブラウザのアドレス欄に
 http://1.1.1.100 と入力して画面を
 表示し、【Uplink configuration】を
 クリックします。



画面は Windows の場合

④

ログイン画面が表示されます。
 「ユーザー名」欄に Cisco Meraki MS の
 シリアル番号 (例: Q***-***-****) を
 入力し、【ログイン】をクリックして
 ください。
 ※パスワードの入力は不要です。



Cisco Meraki MSがクラウドとうまく接続できないとき

IPアドレスを自動取得できない場合は、Cisco Meraki MS に接続し、手動で設定します。

⑤

必要な設定を行い、各項目を入力後、【Save settings】をクリックします。

ネイティブ VLAN を設定します。初期値は【1】です。

管理 VLAN を指定します。

Cisco Meraki MS の固定 IP アドレスを指定します (IPv4)。

サブネット マスクを指定します。

デフォルト ゲートウェイを指定します。

DNS サーバを 2 つまで指定可能です。

⑥

プロキシ環境に設置する場合、以下のプロキシ設定も投入してください。

プロキシ 設定する場合は【Yes】を選択します。

プロキシ サーバの IP またはホスト名を指定します。

プロキシ サーバのポート番号を指定します。

【No authentication】(認証無)
【Use authentication】(認証有) から選択します。

【Use authentication】を選択した場合、
ユーザ名とパスワードを設定します。

※Cisco Meraki MS 上位のファイアウォールなどでアクセス制限を行っている場合、【Help】→【Firewall info】ページに表示されている IP アドレスおよびポートを許可するようにルールを追加してください。

Name	Description	Type	Action	Schedule	Manager
...
...
...
...
...



ネットワンパートナーズ株式会社
www.netone-pa.co.jp

本 社

〒100-7026 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー
TEL 03-6256-0700(代表)

西日本営業部

〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー
TEL 06-6105-0356(代表)



[Facebook] <https://www.facebook.com/NetOnePartners>

▶▶▶ 島崎久子の耳寄り情報局 動画配信中 …… <http://www.netone-pa.co.jp/videos/>

▶▶▶ NOPエンジニア blog 公開中 …… <https://www.netone-pa.co.jp/blog/>

記載内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

掲載している商品名、システム名、名称は、各社の商標、または登録商標です。